



学校だより

# おりひがっこ

子どもたち一人一人が笑顔で過ごす学校をめざして



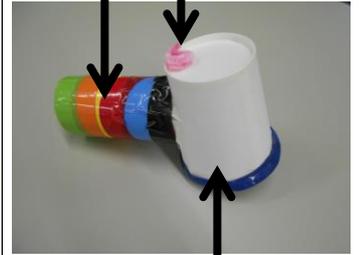
## 1年生が科学体験プログラムに参加しました。

9月20日(水)、北九州市立児童文化科学館で行われた「科学体験プログラム」に1年生が参加しました。朝、児童文化科学館から来た「シリウス号」に乗って、学校を出発しました。

科学体験プログラムの活動1は、科学工作「踊るモールのへび」づくりです。基本となる材料は、トイレトペーパーの芯、紙コップ、モールです。まずは、紙コップにトイレトペーパーの芯を入れるための穴を開けます。あらかじめ芯の直径分の十字の切れ込みはあるのですが、1年生にとって、十字をもとに円を描きながら穴を開けるのはとても難しかったようです。次に、芯にビニルテープを巻く、紙コップに模様をかく、紙コップにふたをつけるなどの工程を経て、最後に組み立てて完成です。いよいよ紙コップに、へびに似せてつくったモールを乗せて躍らせます。へびを踊らせるためには、芯に口をつけて、息を「ふー」と吹きかけるのではなく、口をすぼめて「うーー」等と音を出し続けます。すると、紙コップに振動が伝わり、へびがくるくと連続して回りつづけます。はじめは、回すことができなかった子どもたちも、上手に音を出し、へびを回すことができるようになりました。身近な材料を使って、楽しい体験ができました。活動2は、プラネタリウム観覧です。北九州市の上空で見られる星の様子を勉強することができました。

1年生にとって、校外で学習する貴重な時間となりました。

トイレトペーパーの芯  
モール



紙コップ



## 4年生消防士さんと一緒

9月21日(木) 2, 3校時、本校体育館で4年生による消防士さんと一緒の活動がありました。4年生に指導していただいたのは、八幡西消防署折尾分署の3名の消防士さんです。

まず、火災や救急の通報について学習しました。いざという時は、あわててしまうので、落ち着いて聞かれたことに正確に答えるとよいことを教わりました。次に、体育館のステージの暗幕を閉め、スモークを焚き、その中を避難する訓練をしました。1回目はおしゃべりするなど真剣さが足りなかったため、消防士さんより指導を受けました。2回目は、おしゃべりなく真剣に避難できました。指導する消防士さんの言葉一つ一つに「命を守る」熱い気持ちが伝わってきました。遊びではなく、「命を守る」ための真剣な訓練が必要であることを学びました。



搬送訓練



消火訓練



用具の説明